



熊本地震 被災地へ思いを寄せて

皆さま、こんにちは。さいたま市長の清水勇人です。

7月28日に発生した熊本地震で亡くなられた方々に深く哀悼の意を表しますとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

本市では、発災翌日に災害義援金の募金箱を設置し、8月2日からは応急給水活動のため、水道局の職員を熊本県内へ派遣。3日からは熊本市の要請を受け避難所運営要員として職員を派遣しました。今後も、国や指定都市市長会などと連携しながら、適切かつ迅速な支援を行ってまいります。

災害はいつ、どこで起こるかわかりません。市民の皆さまも今一度、ご家庭の防災備蓄品や避難所の場所を確認し、身近な方々と災害時の行動について話し合ってみてください。



【プロフィール】

昭和37年3月25日生まれ
 平成21年5月～さいたま市長
 現在5期目。ほかに指定都市市長会副会長、さいたま市社会福祉協議会会長、日本サッカーを応援する自治体連盟会長など
 趣味はマラソン、手話ダンス、茶道
 ラーメン、スイーツが大好き
 座右の銘は「素志貫徹」



◆市民の命と暮らしを守る雨水調整池

岩槻区諏訪公園の地下に整備された雨水調整池を視察しました。普段は市民憩いの公園ですが、その地下には約17900立方メートルもの雨水を一時的に貯めることができる巨大な施設があります。

かつてこの地域では、大雨のたびに道路冠水や住宅浸水が発生し、多くの皆さんが不安な思いをされてきました。この調整池の完成により、以前のような浸水被害は大幅に軽減されています。見えない場所で機能する技術や、そこで働く職員の努力。これからも本市では流域治水や雨水貯留施設の整備を着実に進め、激甚化する豪雨災害に備え、市民の命と暮らしを守るまちづくりを進めてまいります。

鈴木彩艶選手に スポーツ特別功労賞

サッカーW杯で活躍した本市出身の鈴木彩艶選手にさいたま市スポーツ功労賞を贈呈しました。本市が誇るトップアスリートの凱旋を、多くの皆さんが心待ちにしていました。市役所正面玄関には市民の皆さんや職員、報道関係者など多くの人が集まり、鈴木選手が登場すると大きな拍手と歓声が沸き起こりました。世界の舞台で挑戦し続ける鈴木選手を、これからも応援しています。感動をありがとうございました！

